

令和8年度 つくし・さくら保育園 (統合保育園) 入園に向けた説明会

令和7年10月20日・10月23日

南部町子育て支援課・社会福祉法人伯耆の国

本日の流れ

1.令和8年度の募集について

2.入所申込の流れ

3.統合保育園の入所手続き

4.開園までの取り組み

5.統合保育園の概要等

6.保育理念・保育方針・めざすこども像

7.特色ある保育サービス

8.安心のための連絡体制

9.今後のスケジュール

1.令和8年度の募集について

- ▶ 令和8年秋をもって、公立保育園である「つくし保育園」と「さくら保育園」は統合となり、新しい場所に新しい園舎を建設し、社会福祉法人伯耆の国による運営に移行（民間移管）を予定しています。
- ▶ このたびの入園申込は、令和8年4月から「つくし保育園」と「さくら保育園」の入園申込ですが、令和8年秋から統合保育園への入園を含めての案内となります。
- ▶ 令和8年4月から秋までは町立保育園として、社会福祉法人伯耆の国の指定管理による委託運営となり、秋の開園以降は同法人の民間保育園（公私連携型保育園）による運営を予定しています。

R8.4～秋

つくし・さくら保育園（指定管理による運営）

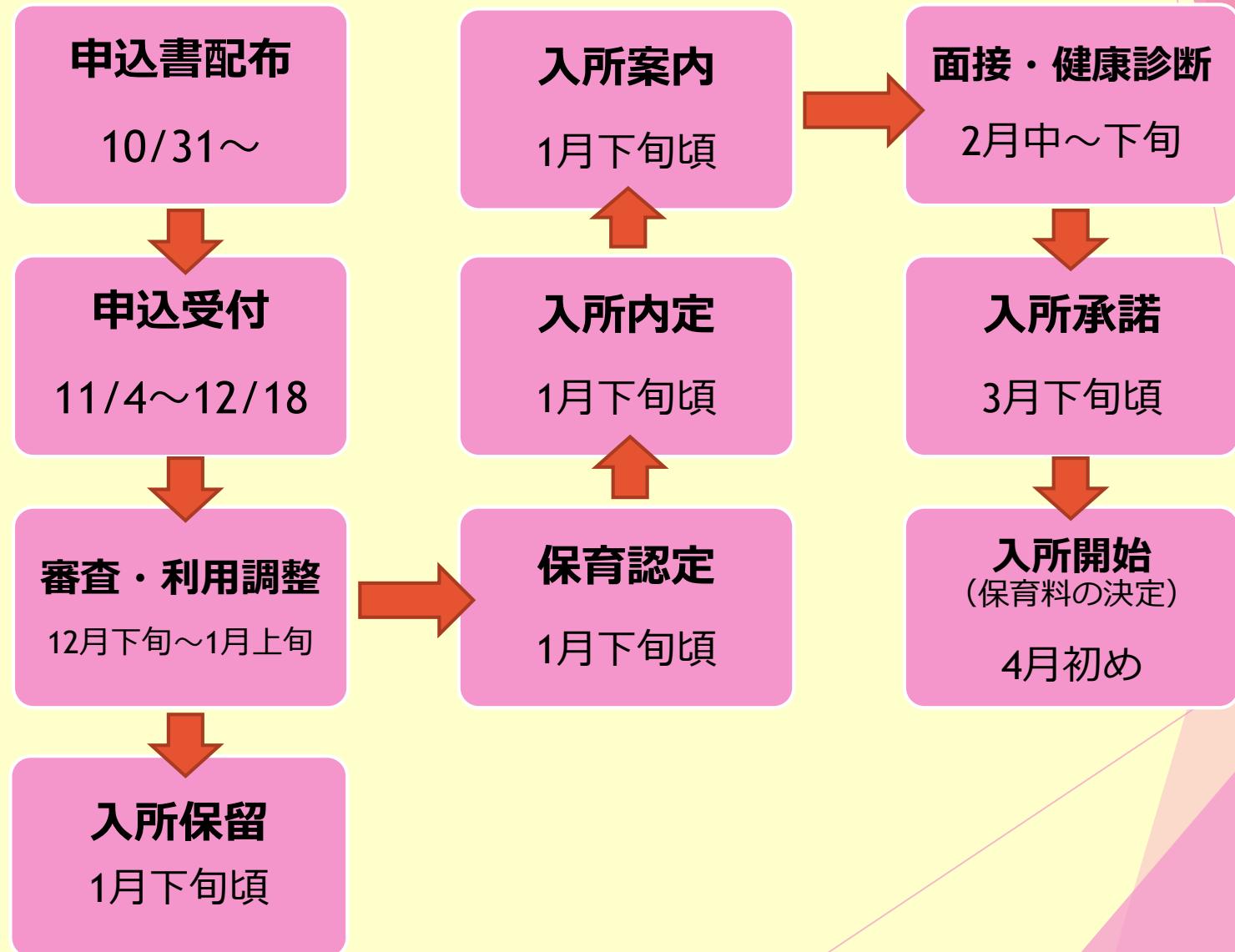
（設置者）南部町
（運営者）社会福祉法人伯耆の国

R8.秋～

統合保育園（公私連携協定による運営）

（設置者）社会福祉法人伯耆の国
（運営者）社会福祉法人伯耆の国

2.入所申込の流れ（例年どおり）



3.統合保育園の入所手続き

- ▶ 令和8年4月から「つくし保育園」及び「さくら保育園」（令和8年秋に統合保育園に入園）を希望される方は、通常どおり町が実施する公立保育園の入所申込手続きによりお申込みください。
- ▶ 令和8年4月に入園されたお子さまは、引き続き同年秋以降も、移管先法人が運営する保育園に通園いただけますので、移管前に移管先法人との同意書の提出以外に特段の手続きは必要ありません。

4.開園までの取り組み

- ▶ 令和7年8月から園児が交流を開始しています。
- ▶ 両園交流により、園児の体調変化や、ストレスを抱えることの無いように万全の注意を払い対応します。
- ▶ 令和8年秋以降の保育・行事等は保護者の皆さんのご意見も考慮しながら進めています。令和8年度内において担任は引き続き同じ保育士を配置する予定です。
- ▶ 令和8年4月以降に両園以外に入園されている園児につきましては、秋からの転園はご遠慮いただくことになります。

5-1.統合保育園の概要

・園の名称

- ▶ 10月から公募を開始
- ▶ 12月中旬に決定

・定員

- ▶ 120名

・保育施設の分類

- ▶ 児童福祉施設である「保育園」として開設

5-2.統合保育園の概要

・入園年齢・開所時間

- ▶ 入園年齢 0歳6ヶ月から
- ▶ 開 所 日 月～土（祝日、年末年始を除く）
- ▶ 開所時間 午前7時30分～午後6時30分
- ▶ 延長保育 午前7時から（30分）、午後7時まで（30分）

・利用料・給食費

- ▶ 保 育 料 公立と同じく、町が決定し、町が徴収
- ▶ 延長保育料 公立と同じく、町が決定し、町が徴収
- ▶ 給 食 費 公立と同じく、副食費は無料（主食費は検討中）

5-3. 公私連携型保育園について

公立（指定管理→町が設立した保育園を民間が運営）から
私立（町が整備した施設で民間が設立した保育園が運営）に移管します。

ねらい 民間の創意工夫によるサービスへの期待
保育の質の充実
保育士の働く環境向上と意欲の向上

公私連携施設のスキーム

公私連携法人の指定

届出（市町村を経由）

公私連携法人

市町村

都道府県

協定締結

（公有施設の無償・廉価での譲渡・貸付）

つくし保育園
定員120人

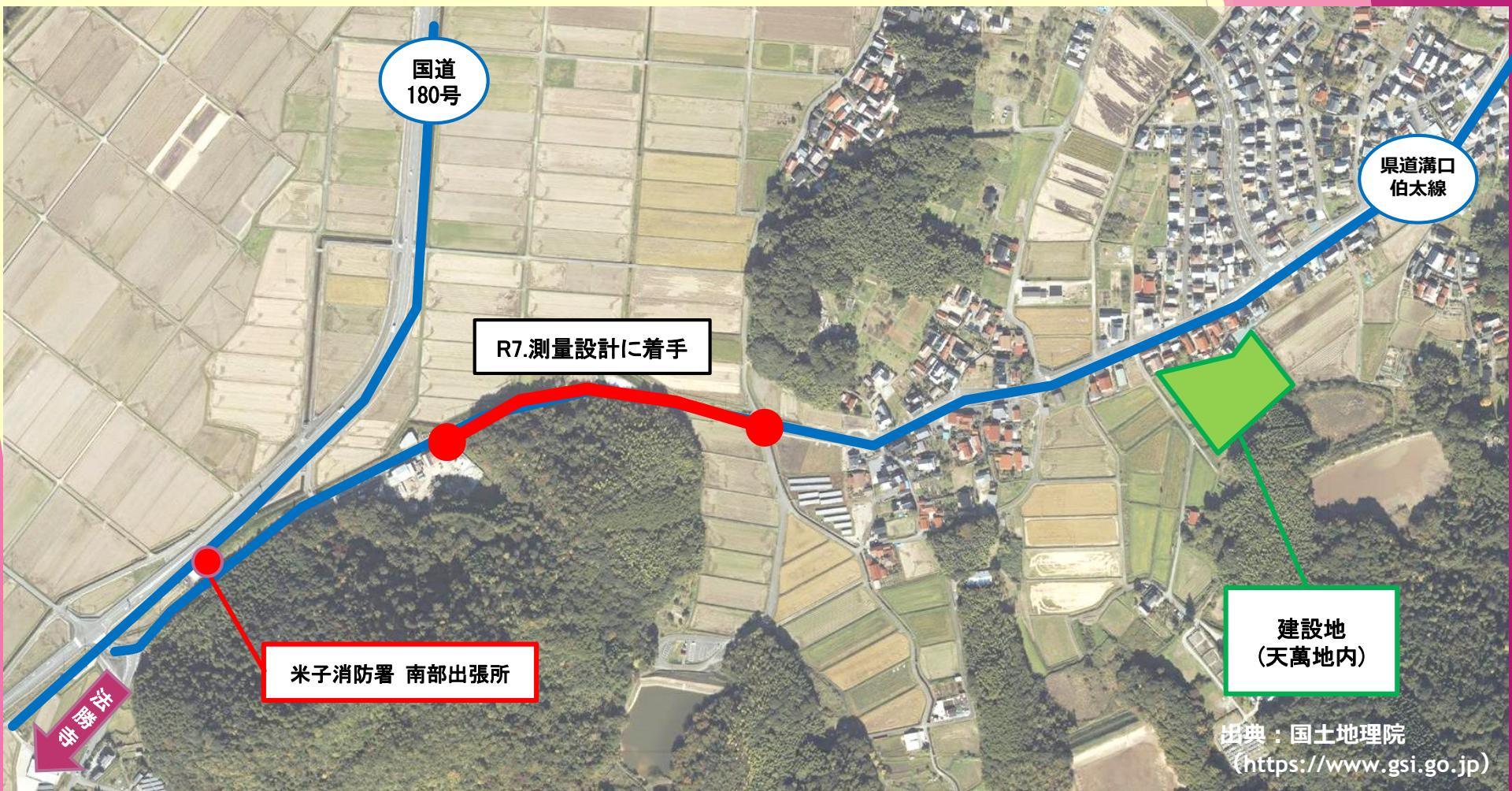
さくら保育園
定員90人

- 区分：公立（公設民営）
- 設置者：南部町
- 運営：指定管理

統合保育園
(○○○保育園)
定員120人

- 区分：私立
- 設置者：伯耆の国
- 運営：伯耆の国
(予定)

5-4. 位置図



5-5. 建築工事の概要

造成・建築工事のスケジュール

	令和7年度	令和8年度
造成工事	R 7. 6～造成工事～R 8. 1	
建築・外構工事		R 7. 9～建築工事～R 8. 9 R 8. 2～外構工事～R 8. 9
電気・機械工事		R 8. 3～電気工事～R 8. 9 R 7. 11～機械工事～R 8. 9

R 8 秋 開園

5-6.設計テーマ・特徴

設計テーマ

1. 地域と連携した子育て・教育ができる施設
2. 利用者・職員にとって魅力のある施設
3. 里地里山の環境を活用できる施設
4. 安心安全で災害に強い施設

設計の特徴

保育室は園庭に面し、職員が園全体を見渡せる設計。園地は自然環境を活かし、園児が体力づくりと自然体験ができる。



南面外観パース

5-7.建物平面図



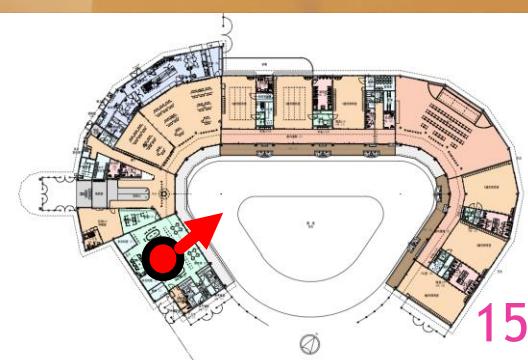


東側からのイメージ



職員室

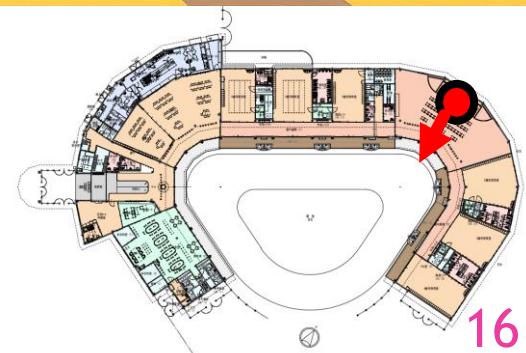
園舎中央に配置された園庭や各保育室を見渡せる職員室。





プレイルーム（遊戯室）

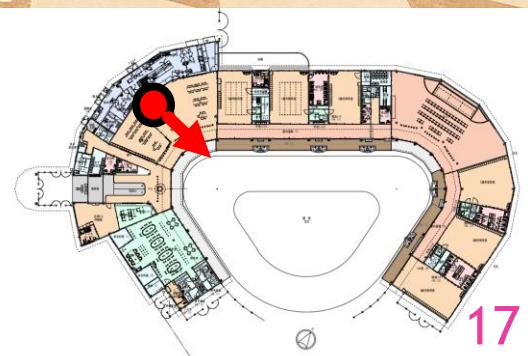
地域住民や高齢者が子どもたちと交流できる、イベントなど多目的に活用できる広いランチルームやプレイルームを設置。子どもたちが安全に元気よく体を動かせるよう、柔らかい床材を採用。





ランチルーム

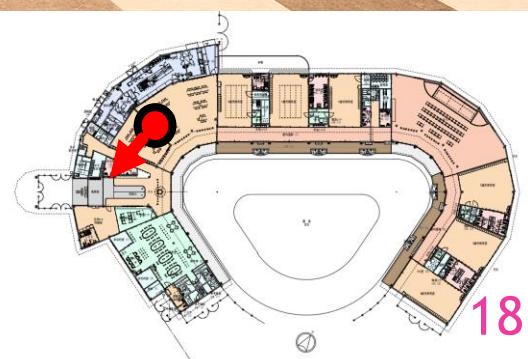
ガラス張りの調理室を見学でき、各教室の保育活動を中断せずに食事ができる。アレルゲンの飛散や付着を最小限に抑えことができる。





図書コーナー

絵本の読み聞かせや読書空間として利用でき、仕切りを外すことでランチルームと連結し、多目的に活用できる空間。





保育室

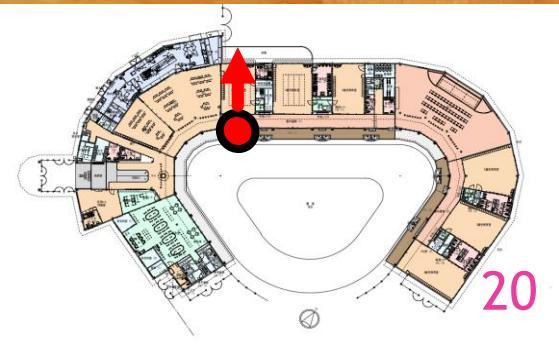
子どもたちが快適に過ごせるよう、各保育室には隣接トイレを設け、0～1歳児保育室には床暖房を完備。また、各保育室には職員コーナーも併設。



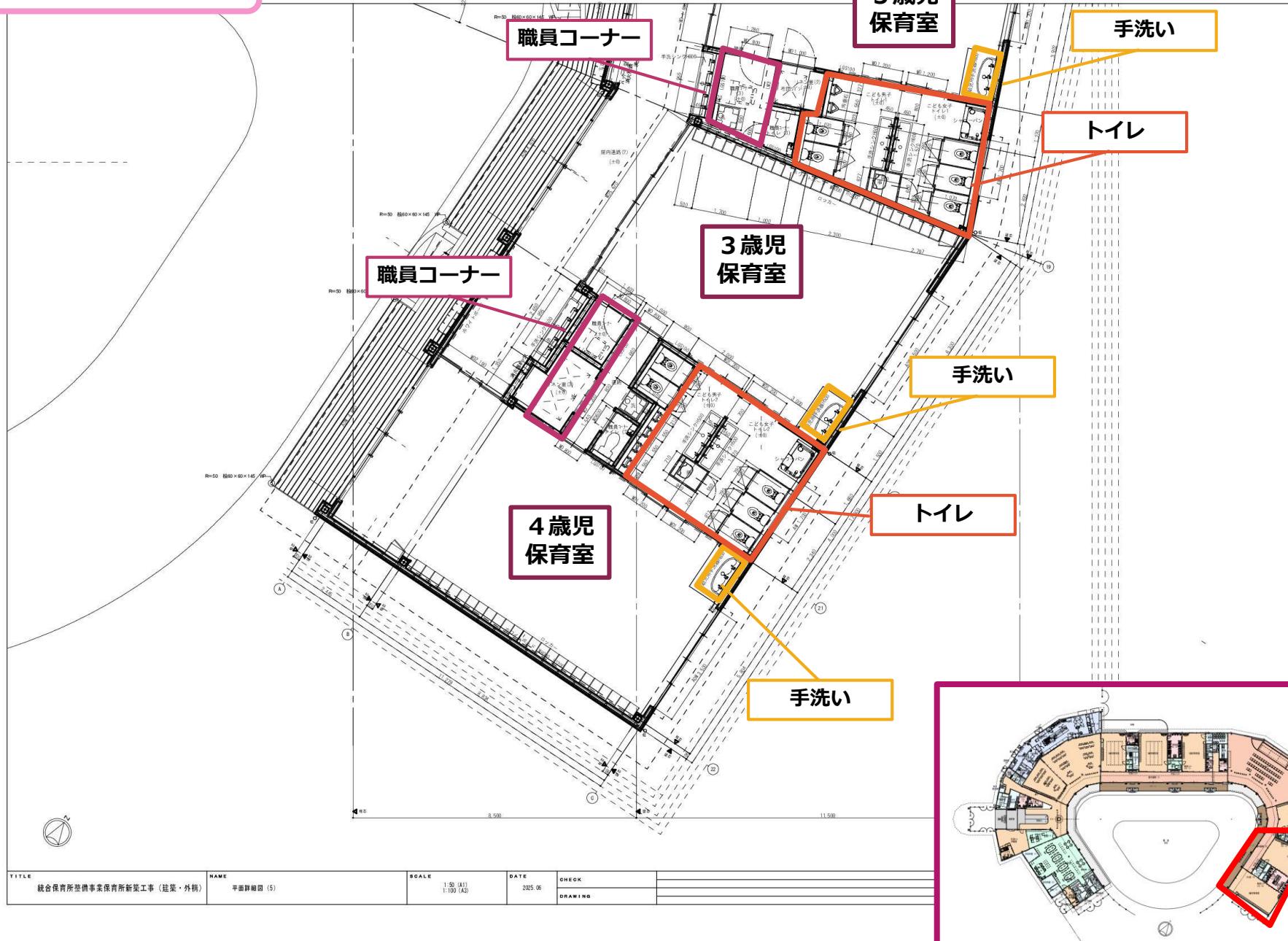


保育室

保育士が効率的に保育できるよう、各保育室に室内手洗い場を併設。



建物平面図

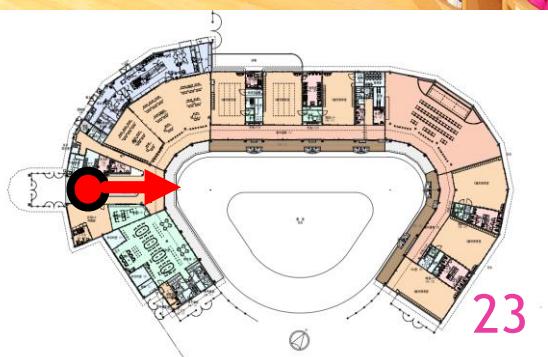






玄関

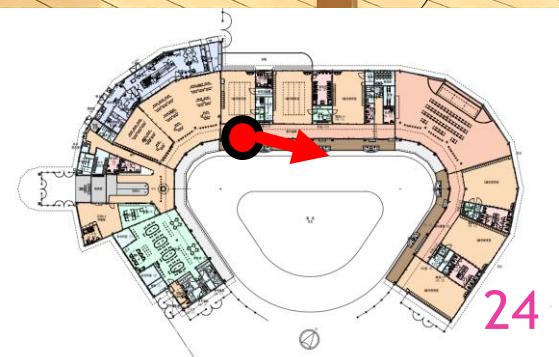
毎日の登園が自然と楽しみになるよう、木のぬくもりにあふれた明るく開放的な空間。段差のないバリアフリー設計で、誰もが安心して利用できる。





廊下

園児や職員が園庭へスムーズに出入りできるよう、園庭に面した明るく開放的な廊下。



6-1.保育理念

社会福祉法人伯耆の国
(保育園理念・保育方針)

こどもたち一人ひとりを尊重し
「生きる力」を創る

6-2.保育方針

①「その子らしさ」を大切にします

～人との関わりの中で互いを認め合い「安心できる環境」を
つくります～

②「様々な経験」を通して、健康な心とからだを育みます

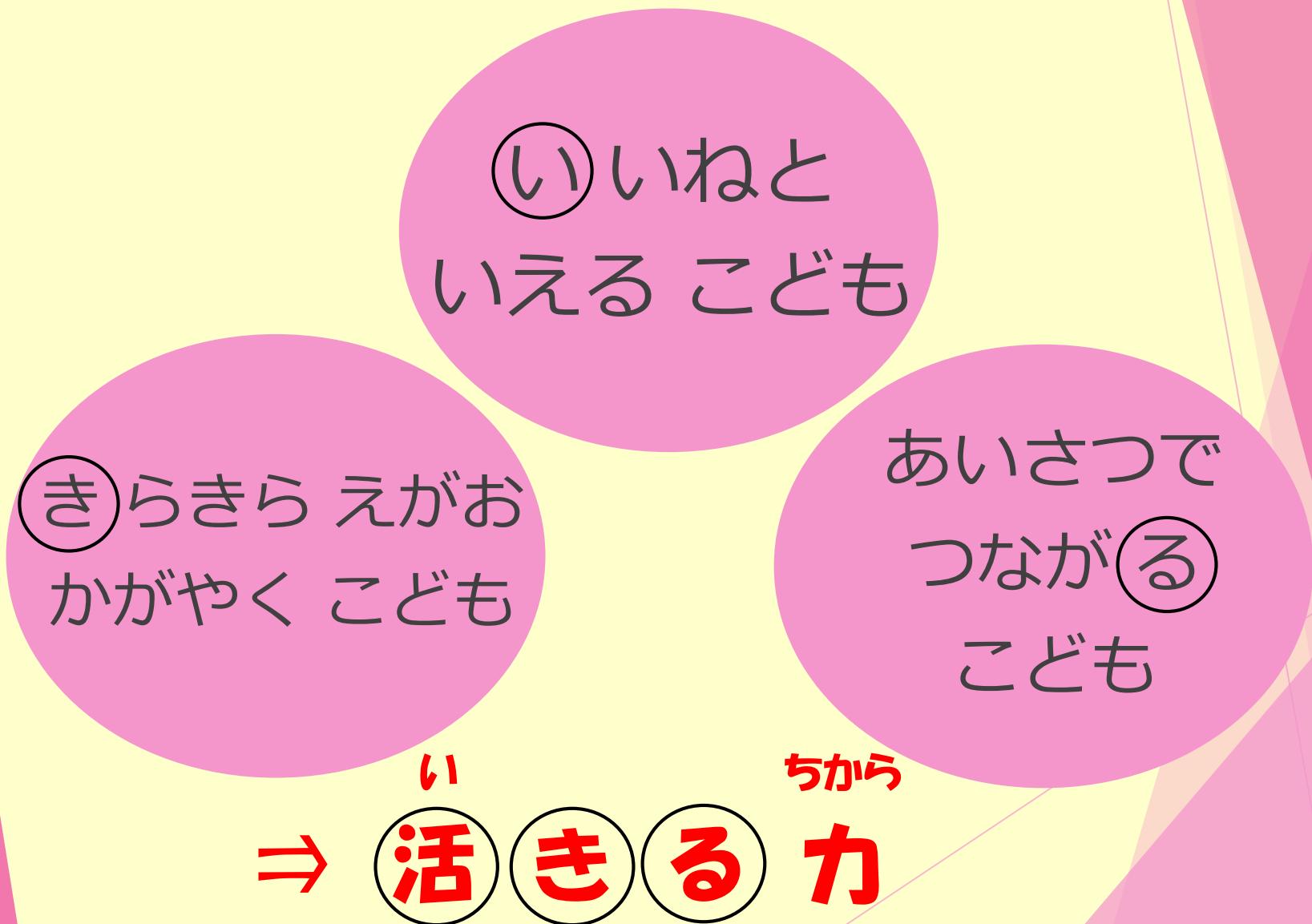
～子どもの「好き」や「挑戦したい」気持ち、学ぶ意欲
を引き出します～

③「地域・家庭」とつながり、共に育てます

～様々な人に見守られ、感謝の気持ちや地域を好きに
なる心を育てます～

⇒特色ある保育サービスに繋げます

6-3.めざすこども像



7-1. 特色ある保育サービス①

保護者向けサービス

完全給食・配食サービス

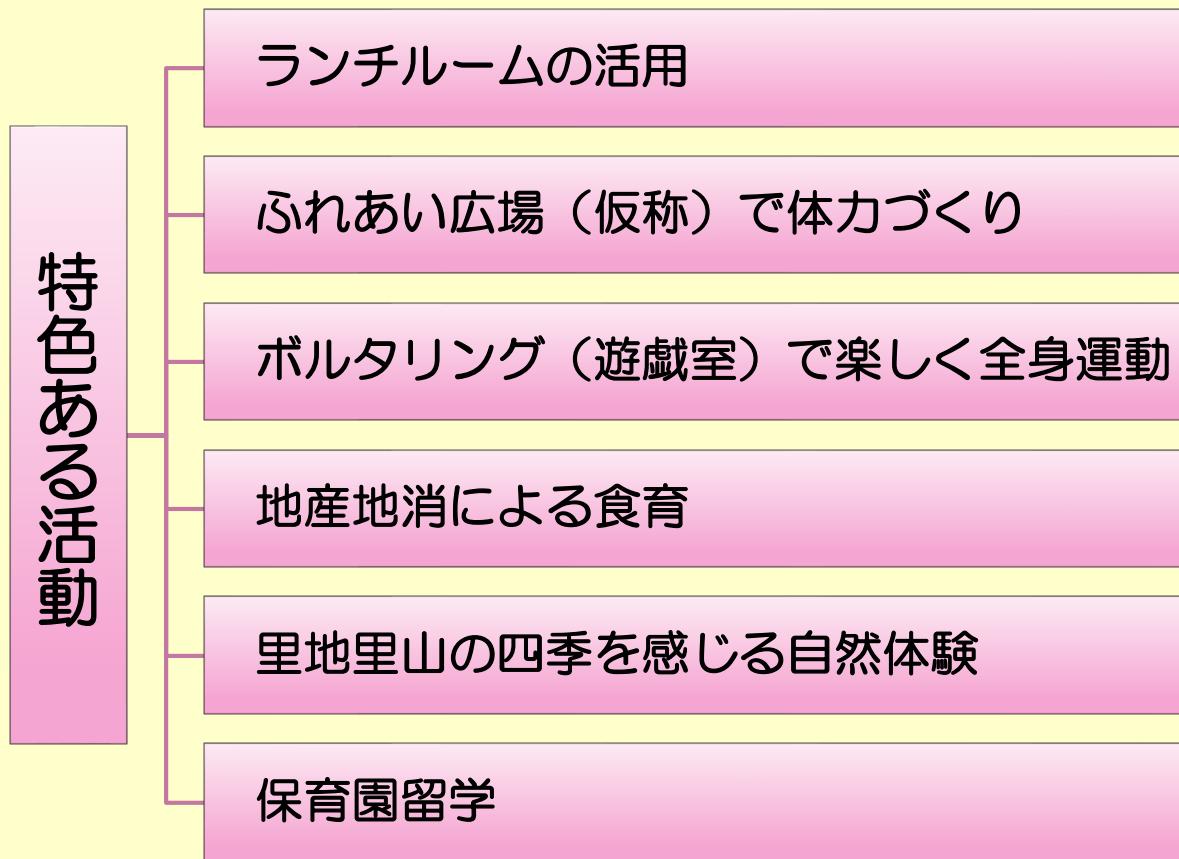
一時預かり・誰でも通園

病児保育（体調不良児対応型）

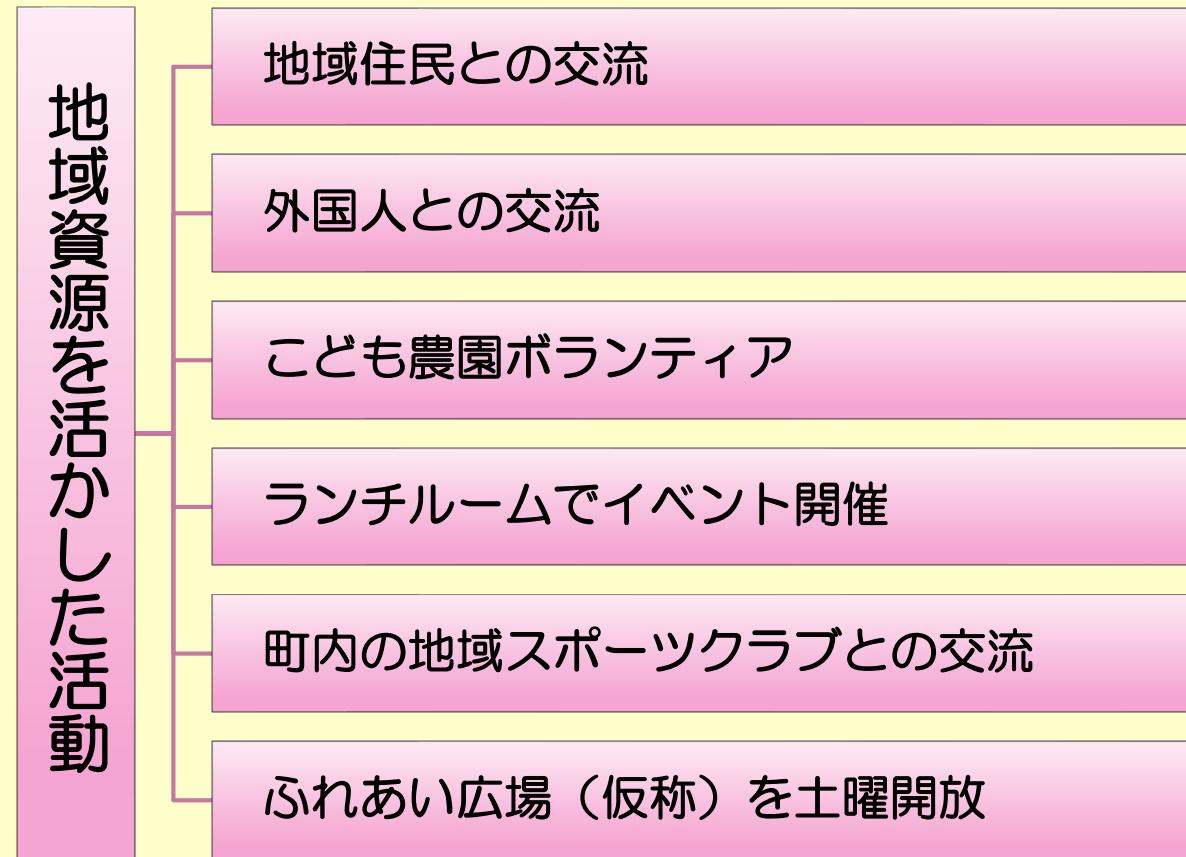
早朝保育・延長保育

〇歳児土曜午後保育

7-2. 特色ある保育サービス②



7-3. 特色ある保育サービス③



8.安心のための連絡体制

- ▶ 保護者アプリ「コドモン」での連絡
- ▶ 緊急時の対応（避難訓練、防災体制）
- ▶ 園からのお知らせはアプリで共有

9.今後のスケジュール

	令和7年度	令和8年度
新園名称	R7.10 公募 ↔ R7.11 投票 ↔ R7.12 選考 ↔ R8.1 公表	
在園児の 2園交流		R7.8～R8.秋 つくし・さくら両園交流
入園関係	R7.11.4～12.18 入園募集 ↔ R8.1 決定	R8.秋 引っ越し準備 ↔ R8.秋～ つくし・さくら入園 ↔ R8.秋～ 統合保育園
入園式 閉園式 開園式		R8.4 つくし さくら 入園式 ● R8.秋 つくし さくら 閉園式 ● R8.秋 統合 保育園 開園式 ●

R8秋 開園